

令和5年度 年間授業計画

田無工科高等学校

教科・科目	芸術 美術 I		単位数	2
対象学年・組	1学年選択全クラス	教科担任	MA:四宮 MB:四宮 AA:四宮 AB:四宮 CA:四宮	
教科書	高校生の美術 1			
副教材	なし			

教科 芸術 の目的：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたり美術を学び楽しみ続ける基礎を養い、さまざまな造形表現を体験する中から生徒一人一人が自分に合った得意表現方法を見つけだし、知識、技能を養う。	多様な美術体験を通し、美術の基礎的な思考力・表現力を育てるとともに、作者の心情や人間性の理解と共感、美術による国際理解、美術について総合的な理解を深める。	生徒一人一人が主体的に表現活動に取り組み、そして鑑賞の学習ができ、生涯にわたって美術表現を楽しむための「美術の得意技」をもつよう美術活動に取り組む。

科目 美術 I の目的：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【学びに向かう力、人間性等】
ポスターの制作、木彫りレリーフ制作、鉛筆デッサンの基本的な表現方法を理解し、誠実に制作し、その体験をもとに、基本的な技能を身につける。	ポスター制作による平面構成の体験、木彫りものづくり体験、鉛筆デッサン、以上3点の表現の基礎に生徒自ら制作し試行錯誤しながらも、生徒一人一人の個性を持った表現を探究している。	誠実に意欲をもって制作して取り組む姿勢、試行錯誤をしながらも進んで授業に取り組み、生徒一人一人の表現を探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態 時数			
				知	思	態	時数
1 学 期	A 単元 平面を基本のラインに文化祭ポスター制作 【指導目標】 1 平面構成の制作を通し造形（構成）の秩序を生む配置の法則を理解し、その上で生徒一人一人の造形を考えるとともに、基礎的な抽象的ポスター制作を行う。	A シンメトリー、リピティション、グラデーション、アクセント等の基本的な平面構成についての説明。 B 制作方法の具体的な説明。 C より良い制作へ向かうためのアドバイス。 D 作品制作に関し生徒との話し合い。	【知識・技能】平面を基本のラインに、生徒各自、自由にポスター制作し、先による構成、面による構成ができる。 【思考・判断・表現】生徒の創造力、感性、独創性を十分に発揮構成を基にポスター制作の中で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】平面構成を基にポスター制作に関して意欲的に取り組み、試行錯誤をしながら配色し、独創性のあるポスター制作ができる。	○	○	○	8
	B 単元 平面構成を基本のラインに文化祭ポスター制作 【指導目標】 1 平面を基に線の構成から生まれた面に彩色する。 配色の模索と同時にグラデーションの構成を取り入れ文化祭ポスター制作を行う。	A マスキングによる彩色の説明。 B よりよい制作へ向かうためのアドバイス。 C 作品制作に関し生徒との話し合い。	A 単元同上	○	○	○	8
	定期考査（なし）						
	C 単元 平面構成を基本のラインに文化祭のポスター制作 【指導目標】 1 色むらのないできるだけ完成度の高い彩色をする。 2 リピティション、色面、グラデーション効果などの再確認とその制作。	A 筆を洗う、パットを洗う、定規や画材をもとに戻すなどの制作の基本姿勢を指導する。 B 落ち着いた心構え、集中力と制作する喜びなど、ポスター制作を通し再確認する。	A 単元同上	○	○	○	8

<p>D 単元 平面構成を基本のラインに文化祭のポスター制作</p> <p>【指導目標】</p> <p>1 集中力と忍耐力、ていねいな制作により完成度の高い制作を行う。</p> <p>2 獨創性、創造力、表現力などを再確認するポスター制作となるように指導する。</p>	<p>C 単元同上</p>	<p>【知識・技能】リピティション、色面、グラデーション効果などの再確認をし、生徒一人一人抽象的なポスター制作ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】平面構成を基に、抽象的なポスター制作の中で、獨創性、創造力、表現力を再確認しながらも、生徒一人一人の表現ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】生徒一人一人集中力、忍耐力、そして誠実にポスター制作に取り組む心構え、試行錯誤をしながらも進んで授業に取り組むことができる。</p>	○	○	○	6
定期考査（なし）						
<p>E 単元 木彫りうき彫り制作、原画、下絵制作</p> <p>【指導目標】</p> <p>1 参考資料により植物（花）をテーマに原画制作をする。</p> <p>2 彫刻が可能で木彫りうき彫りにふさわしい原画、下絵制作をする。</p>	<p>A 制作手順の説明</p> <p>B 参考資料の紹介</p> <p>C 制作途中でのアドバイス</p>	<p>【知識・技能】木彫りうき彫り作品にふさわしい原画下絵制作ができる。落ち着いた心構えで線描による下絵制作ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】うき彫り彫刻を創造性とともに半立体化への思考表現ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】生徒一人一人集中力と忍耐力、そして誠実に木彫り制作に取り組む心構え、試行錯誤をしながらも進んで授業に取り組むことができる。</p>	○	○	○	4
<p>F 単元 木彫りうき彫り制作、彫刻制作、切り出し刀による線彫り</p> <p>【指導目標】</p> <p>1 切り出し刀による板面、原画、輪郭線の線彫りをする。</p> <p>2 切り出し刀を板面に直角に正しく輪郭線に切り込みを入れることができる。</p>	<p>A 制作手順の説明</p> <p>B 桂在（たて300mm、よこ200mm、厚さ20mm）彫刻在なので特に彫刻刀によるけがの注意。</p> <p>C 制作途中でのアドバイス</p>	<p>【知識・技能】落ち着いた心構え、忍耐力と根気のいる木彫り制作ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】うき彫り彫刻を生徒各自の思考と表現とともに半立体化への表現ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】生徒一人一人集中力と忍耐力、そして誠実に木彫り制作に取り組む心構え、試行錯誤をしながらも進んで授業に取り組むことができる。</p>	○	○	○	8
定期考査（なし）						
<p>G 単元 木彫りうき彫り制作、彫刻制作、丸刀によるモチーフ余白のあら彫り</p> <p>【指導目標】</p> <p>1 丸刀によるモチーフ余白のあら彫り外枠の掘り下げをする。木を彫る感触を感じ取りながら物質感のある彫刻制作をする。</p> <p>2 丸刀による余白面を深く彫り下げる。</p>	<p>A 制作手順の説明</p> <p>B 彫刻刀の使い方について、特にけが防止の制作方法と心構えの注意。</p> <p>C 製作途中のアドバイス</p>	<p>F 単元同上</p>	○	○	○	6
<p>H 単元 木彫りうき彫り制作、彫刻制作、平刀による余白面を美しく整える。</p> <p>【指導目標】</p> <p>1 余白面丸刀によるあら彫りの後、平刀で余白面を美しく整える。</p> <p>2 平刀による木を彫る感触を感じ取りながら物質感のある彫刻制作をする。</p>	<p>G 単元同上</p>	<p>F 単元同上</p>	○	○	○	8
定期考査（なし）						

3 学 期	I 単元 木彫りうき彫り制作、切り出し刀、平刀による主題、肉付け彫刻制作 【指導目標】 1 切り出し刀、平刀によるおおまかに彫り込むと同時の細部の彫刻を創造性と独自の表現で深く彫刻する。 2 生徒一人一人の閑静で創造性と独自の表現の中深く彫刻する。	G 単元 同上	F 単元 同上	○	○	○	6	
	J 単元 鉛筆で書く、基本形態円筒形デッサン 【指導目標】 1 円筒形（缶）のデッサンを通してデッサンの基礎を理解し、モチーフの画面への取り入れ方、鉛筆の描写の使い方などを考えるとともに鉛筆による絵画表現ををる。	A 具体的な鉛筆デッサンの制作方法の説明 B 制作へのアドバイス C 参考作品の紹介	【知識・技能】落ち着いた心構え、正しい姿勢でデッサンができる。中心線、補助線を描き量感とともに形を捉えることができる。 【思考・判断・表現】明暗の差を表すため、濃淡をつける。立体感、量感を意識し、丸みや曲面を線で描くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】生徒一人一人集中力と誠実にデッサンに取り組む心構え、試行錯誤をしながらも進んで授業に取り組むことができる。	○	○	○	4	
	K 単元 鉛筆で描く、基本形体長方形 【指導目標】 1 長方形（箱型）のデッサンを通してデッサンの基礎を理解し、モチーフの画面への取り入れ方、鉛筆の描写の使い方などを考えるとともに鉛筆による絵画表現をする。	J 単元と 同上	J 単元と 同上	○	○	○	4	
定期考査							合計	70